



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和元年6月28日

第4号



「今日は絶対に勝つぞ」「徒競走は負けられない」

校長 神田 敏之

運動会の当日、門に立っている私に声がかかりました。朝から運動会に向けて気合が十分な様子です。各家庭でも運動会への意気込みを話していたことでしょう。どの子どももよい顔で登校していました。

1・2年生の演技「ス・マ・イ・ル!」では踊ることを楽しんで、顔がにこにこしていました。3・4年生の演技「地球最高のショー・リターンズ」では、リズムに乗って楽しく演技をしていました。特にそれぞれが考えた決めのポーズでは、真剣な表情や厳しい表情も見られ、楽しく踊っているときと対照的でした。5・6年生の演技「ソーラン節」では、腰を落として力強さがみなぎっていました。最後のポーズでは、やり切ったという満足感が出ていました。

練習の段階では、4年生、6年生が去年の経験を生かし3年生、5年生に演技を教えることをしました。5年生の作文に「6年生がわかりやすく教えてくれた。来年は今の6年生のようなみんなを引っ張る立派な6年生になりたい。」とありました。このようにバトンがつながれていくこと、上級生の活躍を見て将来の自分の姿を想像することなど運動会という大きな行事で子どもたちが学ぶことはたくさんあるのだと感じました。

先日、スクールゾーン対策協議会が開かれました。これは、校外委員が中心になってまとめた学区の危険個所について挙げ、区役所、警察、土木事務所の方と修繕などの対策について話し合うものです。この会には地域の代表として会長さんたちにも参加していただいています。法律上実施できないこともありましたが、多くの前向きな回答をいただくことができました。その他に、交通安全や不審者情報についての話も出ました。

登下校の際、横断歩道が無い道を渡らなければならない子どもがいます。先日、登校に付き添っている保護者の方が、右と左をきちんと見て渡るように指導をしてから、道を渡してくださっているのを見て安心をしました。犬の散歩やごみ出しを登下校の時間に合わせて、子どもたちを見守ってくださっている方も見かけます。地域や保護者の方が旗を持って見守って下さる場所がありますが、すべての通学路ではありません。やはり「自分の命は自分で守る」ということから、大人の方がいても自分でしっかりと安全確認をしてから渡る、ということ子どもには学ばせたいと思います。

六浦西第2公園から学校へ向かってくる歩道で、ふざけながら歩き、段を降りてしまい危ない場面が見られました。帰るときに走って、転んでしまった子どももいたそうです。学校でも子どもたちの登下校の仕方について指導を重ねています。お気づきのことがありましたら、ぜひその場で声をかけていただけるとありがたいです。